

# Try! up!



Vol. 29 [2017年12月20日発行]

## 本校主催『看護師国家試験 専門領域別対策講座』を開催しました



12月5日(火)から3日間、第107回看護師国家試験に向け、在校生を対象とした国家試験対策講座を本校において開催しました。

実施した講座は全部で8領域分。各領域の教員たちは「みんなが合格してほしい」と、熱い思いの入った授業を繰り広げていました。過去の国家試験や模擬試験の問題の中から、特に間違えやすい問題や確実に覚えて欲しい知識をピックアップした資料を作成したり、授業では図を描きながらポイントを強調したりしました。



そんな教員らの熱意に応えるかのように、連日80名近くの参加者らが真剣な表情で講座に聞き入り、レビューブックのページをめくりながら大事なポイントに印を付けるなどして、熱心に学習に取り組んでいました。教員に積極的に質問する様子はとても頼もしく、合格したいという学生の気持ちが教員にも伝わってきました。

また、参加した学生からは次のような声が聞かれました。

- ◆平成30年版出題基準に沿った対策講座で、レビューブックに掲載されていない内容も知ることができて良かったと思います。
- ◆先生が重要な点について繰り返したり、強調したりしてくれるので重要事項の確認をすることができました。
- ◆テキストや資料だけではわからない事について質問することができ、理解につながりました。
- ◆1人で勉強していると不安になっていましたが、講座に出席し同じ目的をもった友人と話をしたことで安心感と良い緊張感を感じ、また頑張ろうと思うことができました。



本番まで残り2ヶ月を切りました。インフルエンザが猛威を振っているこの時期は睡眠、栄養をしっかりとって体調管理を怠らないようにすることも重要です。万全を期して臨みましょう。

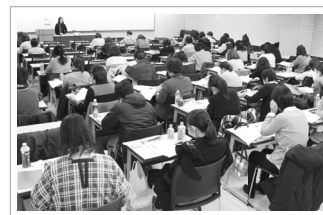
## 『レポート課題学習会』を開催しました

通信制の本校においてレポート課題は、「通信授業」と言われる授業方法の1つであり、看護に必要な基本的知識を習得するための重要な学習となっています。そのため、1年次に位置づけて履修しています。自宅での自己学習が中心ですので、自分のペースで進められる反面、疑問を1人で解決していくことの難しさもあります。

そこで、昨年度よりレポート内容に関する疑問を解決し、理解を深められるよう教員が対面授業によって学習を支援していく「レポート課題学習会」を年2回開催しています。去る12月12～14日の3日間での学習会は、1年次後期の単位認定試験科目となる7科目「成人看護方法」「老年看護方法」「小児看護方法」「母性看護方法」「在宅看護方法論」「看護管理」「災害看護」について行われ、連日50名以上の参加がありました。

教員が授業形式で対応するということもあり、学生の皆さんは真剣な表情で聞き入っていました。講義後には、参加した学生同士で確認し合ったり、教員に質問するなど、積極的な姿勢が見られました。肩を並べて学習し合うことでお互いの良い刺激になっているようでした。

今回、学習会に参加できなかった皆さんは、返却されたレポート課題を再度開いてみてください。それぞれの教員による添削やアドバイスなど、書かれてあることを確認しましょう。継続した学習のためには、疑問はそのままにしておかないことが大切です。自己学習にて解決しない時には、遠慮せずに教員に問い合わせてください。



第107回  
看護師国家試験

2018年

2月18日(日)

2年生の皆さん、第107回看護師国家試験までの日々、学習目標と計画をしっかり立てて有意義に時間を使っていますか。

今まで学習してきたことは新出題基準による内容を含んでいますので、焦らないできちんと復習をしてください。

1月に行われる東京アカデミー主催の第3回模擬試験は、会場での受験となりますので、時間配分を確認しましょう。

この模擬試験で合格圏に突入して国家試験本番に臨みましょう。

### 試験当日までの留意点

☑ 必修問題が8割以上得点ができていない人は、最低限必要な基本的事項が身につけていないということです。知識を確実にするために、もう一度必修内容を学習しましょう。

☑ 「人体の構造と機能」に戻りながら、解剖生理を理解して学習を進めましょう。

☑ 検査基準値の暗記は必須です。

☑ 健康支援と社会保障制度は、基本内容をきちんと頭に入れておきましょう。



☑ 過去問題の学習は、単に問題を解いて正誤を確認することを繰り返していると、同じテーマでも設問の仕方が変わると答えられないということになります。過去問題の学習においては解説をきちんと読み、その項目についての周辺知識を含めて習得しておくことが大切です。

☑ 計算問題の基本はマスターしておきましょう。

☑ 長文の出題においては、状況文も選択肢の質問もきちんと内容を読み取ることが大切です。「状況からアセスメントし、それに基づいて選択肢を選ぶ」という今まで培ったアセスメント力を発揮するために、落ち着いて考え判断をしましょう。

### 試験本番の留意点

☑ 気持ちを落ち着かせ、集中して取り組むことが大切です。

☑ 解けない問題のところで手が止まってしまうと、最後の問題まで目を通さないうちに終了になりかねません。解答の絞りにくい問題は、その時点で「最も適切である」と考えた解答をとりあえずマークシートに記入します(必ずマークをしないと、解答欄をずらしてしまいミスにつながります)。そして、問題文の横に目印をつけておき、後から見直すようにしましょう。

解答時に  
迷ったら...

とりあえずマーク

|   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ★ |
| 2 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |   |
| 3 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ★ |
| 4 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |   |
| 5 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |   |

目印をつけておき  
後から見直す

#### ◆ 受験票の送付について

1月中旬に学校に送付されますので、その後学校から受験生に送付します。

#### ◆ 《参考》 昨年の集合・解散時間

集合時刻…9:00  
(入場開始時予定時刻…8:00)  
解散時刻…17:10頃

## 学生通信

### 職場からの応援を胸に 看護師へステップアップ

1年生 佐藤みのりさん (秋田県・病院勤務・50代)



私は長年、准看護師として看護の現場で経験を積んできました。そこで年を追う毎に感じるようになったのは、「看護師」の資格を持つ後輩が増えてきたということです。私は年齢的にもその後輩たちへ指導をしなければならぬ立場。しかし、「看護師」としての知識を持ち合わせていないことで、後輩からの質問にはっきり答えられないなど、もどかしい思いをすることが多くなっていったのです。次第に「ずっと准看護師のままではいけない。いつか学校で学び、正しい知識を持った看護師になりたい」と考えるようになっていきました。

そんな私がいよいよ看護師へのはじめの一歩を踏み出したのは、3年ほど前に現在勤務している病院へ転職したことが大きなきっかけでした。転職先は、看護師へのステップアップを積極的に勧めてくれる病院。

本校のスケジュールに合わせて優先的に休日を取得させてもらえるなど、学習しやすい環境です。実際に本校を卒業し看護師になった先輩もいて、「2年間がんばる価値あり!やってみたらどうか」と背中を押してもらえました。この応援がとても心強く感じられ、また、子育てを終え自分の時間を持てるようになったこともあり、思い切って入学することにしました。

こうして念願の学生生活がスタートしたのですが、久々の勉強は戸惑いの連続でした。じっくりと時間をかけて学び進めるイメージでしたが、課題の量が想像以上で、マイペースではいかず…しかも、何か一つ覚えるのに、若い頃の倍の時間が必要です。そのため、仕事や家事の合間を見て、なるべく多くの学習時間を確保。必死で課題と向き合う毎日を送っています。

しかし、そんな大変さ以上に、学ぶことの楽しさを感じています。継続して学び進める程に自分の成長を実感し、少しずつ自信もついてきました。看護師への道も見えはじめたように思います。来年はいよいよ2年生。実習などでさらに学びを重ね、より成長できた自分に会えるのを楽しみに、まい進していきます。

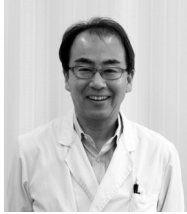
# 私たちがバックアップします！ 看護の現場から

From the Spot

～ 第13回 はるみ眼科・循環器内科クリニック ～

限られた人員体制の中で、継続して職員の入学を果たした、  
八戸市のはるみ眼科・循環器内科クリニック。

忙しい日常業務の中で、  
どのような視点や手法で職員の「学び」を  
バックアップしているのか、  
どのような思いで職員を送り出したのか、  
向井田院長にお話を伺った。



向井田 春海 院長

准看護師の学びへの思いに対し、  
どのように支援されてきたのでしょうか。

当クリニックでは、看護職にかかわらず学びたいという意欲のある職員には、どんどん学んでほしいと考えています。ただ、支援の形が決まっているわけではありません。一人ひとり考え方や環境が違いますので、本人の希望を聞き、どんな支援がベストなのかを一緒に考えるようにしています。

看護師の学びへ進んだ職員は栗山さん(右欄参照)が初めてでした。働きながら学ぶということが、どのくらい本人や他の職員の負担になるのかわからないまま手探りでスタートでした。試行錯誤していく中で、仕事も学びもコツコツと頑張っている姿を見ると『なんとしてでも合格させてあげたい』と思い、クリニック全体でバックアップ体制を作りました。送り出す側が気持ちよく送り出すことで、学ぶ側も気持ちが違うのではないのでしょうか。学びたい人が気兼ねすることのない環境を作ることが大切だと思います。

職員の学びは職場に影響を与えますか。

大きな病院とは職員体制が異なりますし、職員が一人欠けることの負担は小さいものではありません。それでも学びを推進するのは、それが後にクリニックの大きな財産になると考えているからです。学びによって人としても仕事においても幅が広がり、日々の業務に充実感を感じられる職員が増えることは、患者さんへのより良い医療の提供という形でクリニックに還元されると思っています。

また、学びを重ねた職員は、日常業務への向き合い方も大きく変わると感じています。それまで以上に、患者さん一人ひとりと向き合い、自身で考え、わからないことは調べよう、学ぼうという意識が高まるようです。他の職員もいい意味で緊張感を持ちながら仕事に向き合うことができている。これからもお互いに刺激を受け合いながら、もっともっといい医療が提供できるように変わっていかないと感じています。

東北福祉看護学校に通う職員の方に  
期待することは。

現場で求められるものを理解しながら、患者さんの状態をアセスメントし、必要な看護を自分で判断して提供できる力、医師への提案ができる力を身につけてほしいと考えています。また、資格を取ることを最終目的とするのではなく、充実感をもって一緒に成長しながら、末永く本クリニックの一員として働いてもらえればと願っています。

## はるみ眼科・ 循環器内科クリニック

青森県八戸市  
一番町二丁目3番地6



眼科、循環器内科として、平成21年に開業。患者一人ひとりに誠心誠意向き合うことを心掛け、小規模だからこそできる地域に根差したあたたかい医療の提供を目指す。

## 働いていたからこそ 得られた学び

栗山 明日香 さん (40代・卒業者)



准看護師になった時から『必ず看護師に!』という想いがありました。10年目を迎えた時、副院長の強い後押しもいただき、進学を決めました。

2年の秋には退職も考えたほど看護師の学びは大変でした。それでも国家試験に合格できたのは、私のために前例のなかった休職の制度を作り、応援してくれた職場の皆さんの協力があったからだと思います。また、身近に看護師の先輩がいたからこそ刺激を受けて前へ進めたのだと思います。

これからも学ぶ機会を大切に、自分から調べ、考え、医師に伝えることのできる看護師でありたいと思っています。

## 不安を和らげることのできる 看護師に…

岩谷 千秋 さん (40代・1年生)



今振り返ってみると、以前の私は日々の業務をこなせばいいという感覚が強かったように思います。

ある日、患者さんの状態が急変した時、同僚の看護師がテキパキと動いているのを目の当たりにし、その動きを見てとても感動しました。知識や技術があればこんな風に働けるのだということを実感し、看護師を目指したいと強く思うようになりました。

説明会にも参加し進学を決めたものの、仕事と両立していけるのか不安がありました。しかし、入学してみると、親切でどんな些細な事でも話しやすい先生ばかりですし、職場や家族の温かい応援もあり、安心して学ぶことができている。

現在は2つ目の見学実習を終えたところです。学んだことが仕事と繋がる瞬間も増えてきました。今後はさらに学びを深めて自身の幅を広げ、患者さん一人ひとりに寄り添い、少しでも不安を和らげることのできる看護師になりたいと考えています。

梅村 優美子 チーフ(看護師長) より



2人が学んでくれたことで現場の士気がグッと上がりました。勤務中には難しい質問もあり、ドキッとすることも多くなりました。2人の仕事への向き合い方、考え方、学ぼうとする意欲を感じます。それは、患者さんの急変時にも如実に現れています。今しなければならぬことに気づき動ける看護師が増え、とても頼もしく感じています。

## 学校からの お知らせ掲示板

### ● 年末年始休校のお知らせ

本校は、12月29日(金)から2018年1月4日(木)までお休みをいただいております。

この期間は電話も繋がらないことをご了承ください。

1月5日(金)より通常の業務開始となります。

(5日の自習室の使用は17時までです。)

◆本校への入学相談につきましては、Eメールでの問い合わせをお願いします。

【進学相談専用メールアドレス】

[tfns\\_sodan@tfu-ac.net](mailto:tfns_sodan@tfu-ac.net)

【進学相談専用ダイヤル】

022-292-2662

### ● 「紙上事例演習学習会」の案内

本校では、専任教員による学習支援を開催しており、3月4日(日)と3月5日(月)は「紙上事例演習学習会」を開催します。

是非この機会を有効に活用してください。

| 開催日     | 時間          | 領域    | 担当教員  |
|---------|-------------|-------|-------|
| 3月4日(日) | 10:30～12:00 | 成人看護学 | 青砥    |
|         | 12:45～14:15 | 老年看護学 | 菅原    |
|         | 14:30～16:00 | 小児看護学 | 佐々木   |
| 3月5日(月) | 10:30～12:00 | 在宅看護論 | 月原    |
|         | 12:45～14:15 | 母性看護学 | 中里    |
|         | 14:30～16:00 | 看護の統合 | 大場・青砥 |

会場:東北福祉大学 仙台駅東口キャンパス

### ● オープンキャンパス開催のお知らせ

本校の「学び」を体感し、「看護師への道」をイメージする機会として、オープンキャンパスを開催します。

開催日 ◇ 第4回 1月14日(日)

今年度最終回!

会場 ◇ 東北福祉大学 仙台駅東口キャンパス

時間 ◇ 13:00～16:30

\*ご都合に合わせてご自由にご参加ください。

参加無料  
お申し込み不要  
参加特典あり

#### 内容

- ◆卒業生の体験談 ◆模擬授業 ◆演習体験
- ◆学校説明会 ◆放送大学説明会 ◆キャリアデザイン・個別相談

「卒業生の体験談」や「模擬授業」など、充実した内容で本校を体感していただけます(校舎見学もできます)。

参加費無料、参加特典もありますので多くの参加をお待ちしています。 ※詳細は、本校Webサイトをご覧ください。

### ● 学校説明会開催のお知らせ

新宿 開催日 ◇ 1月10日(水) 14:00～16:00  
会場 ◇ 東北福祉大学 東京サテライト(四ツ谷)

秋田 開催日 ◇ 1月17日(水) 14:00～16:00  
会場 ◇ 放送大学秋田学習センター(秋田大学内)

仙台 開催日 ◇ 2月4日(日) 14:00～16:00  
会場 ◇ 東北福祉看護学校

要事前予約  
開催日の前日  
までお申し込み  
ください。

\*参加特典あり

## スケジュール

1年生【学籍番号が“17”で始まる学生】

### 教育課程

①「精神看護学」紙上事例演習2の再提出と紙上事例演習3の提出

提出日:2018年1月9日(火) 必着

※紙上事例演習2の再提出は対象の学生のみです。

②後期単位認定試験

1月11日(木)

科目:成人看護方法・老年看護方法・小児看護方法・母性看護方法

1月12日(金)

科目:在宅看護方法論・看護管理・災害看護

\*後期単位認定試験再試験日は

2月8日(木)・2月9日(金)となります。

③「精神看護学」病院見学実習後面接授業

●D日程:2月4日(日)・5日(月)

●E日程:2月14日(水)・15日(木)

●F日程:2月17日(土)・18日(日)

会場:D・F日程…仙台駅東口キャンパス 3階 教室1

E日程…いわて県民情報交流センター「アイーナ」  
8階 会議室803(盛岡市)

2年生【学籍番号が“17以外”で始まる学生】

### 国家試験対策

①第3回 看護師国家試験模擬試験(主催:東京アカデミー)

【東京アカデミー 仙台校】

●A日程:1月8日(月・祝)

●B日程:1月13日(土)

【東京アカデミー 青森校・秋田校 等】

●日程:1月7日(日)

②最終兵器講座(主催:さわ研究所)

日程:1月19日(金)・20日(土)

会場:さわ研究所 仙台校 他

③看護師国家試験対策講座(主催:本校)

\*合格圏にもう一歩の方のための講座です。

日程:1月29日(月)10:00～17:00(基礎・成人)

1月30日(火)9:00～16:00(老年・小児・精神)

1月31日(水)9:00～16:00(母性・在宅・統合)

会場:東北福祉大学 仙台駅東口キャンパス 3階 教室1

### その他

#### ●卒業記念講演・卒業式

卒業記念講演:3月14日(水)

卒業式:3月15日(木)

会場:東北福祉大学 仙台駅東口キャンパス

\*詳細については後日文書でお知らせします。

